

平成 28 年度施設改善実績報告のまとめ

技術安全委員会

1. 施設改善の実施

施設改善実績報告は、アンケート形式で任意に報告してもらった会員の施設改善実績を集約整理し、全体の概況をまとめて報告するものである。電気管理技術者は、保守・点検に際し、常に問題意識をもって設備に相対し、問題点を摘出、改善意欲をもって対処することが大切である。統計的にあらわれた改善・改修項目の多寡から、他の会員の力点の置き所が把握できる。これを参考にす

ることで会員各自の予防保全業務の質的向上に役立てて頂きたい。

平成27年度の調査から全国の電気管理技術者協会でも統計をとることになり、統計期間（従来9月1日から翌年8月31日）が、年度（4月1日から翌年3月31日）に変更になった。また昨年度より、最近の事故等から問題意識をもって対応して頂きたい項目が追加、細分されている。

表1 過去5年間の施設改善実績

項目	施設改善・改修・取替え、設備内容	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
1	高压ケーブルを取替えた	928	740	980	998	1042
2	PAS・PGSを新規に設置した（直接引込みから設置へ）	1164	913	1116	258	364
3	PAS・PGSを取替えた				787	728
4	UGS・UASを新規に設置した（PDS、MDSからの変更）	706	604	725	598	576
5	UGS・UASを取替えた				69	98
6	地絡・短絡防止対策を施した（DS・LBS相間絶縁バリヤを設置ほか）	—	—	—	179	212
7	プライマリーカットアウトスイッチ（PCS）を取替えた	—	—	—	111	121
8	パワーヒューズ（PF）を改修（不良交換、更新、容量の適正化）した	264	235	251	281	232
9	LBSを取替えた	952	784	940	780	878
10	VCS・VMC等の負荷開閉器を取替えた	—	—	—	97	96
11	遮断器を取替えた（OCB、VCB他）	494	404	482	378	458
12	計器用変圧器（VT）・変流器（CT）を取替えた、または撤去をした	320	269	300	259	273
13	過電流継電器（OCR）を取替えた	383	310	365	337	378
14	地絡継電器（GR、DGR他）の取替え、またはZCTの設置位置を変更した	341	270	271	246	236
15	雷害防止の為アレスターを設置または取替えた	101	82	72	62	30
16	クリートまたは母線支持碍子、絶縁電線の改善をした（絶縁回復剤での改善は含まない）	359	299	239	222	234
17	絶縁回復剤で高压機器絶縁の維持・回復の対策を施した	—	—	—	2234	1938
18	トランスの改修（増設、減設、取替え）をした	667	533	591	460	525
19	絶縁油の交換または劣化防止剤を入れた	593	493	511	460	422
20	高压コンデンサー・リアクトルを取替えた、PFの設置、高調波対策をした	283	200	291	301	285
21	小動物侵入防止対策を実施した	1448	1297	1455	1444	1222
22	電気室・キュービクルへの植物・つる草類の浸入防止または伐採をした	7958	6667	7087	6297	6238
23	構内工事施工時の管理技術者への連絡義務化を徹底した、保安教育を改めて行った	1954	1494	1425	1234	1283
24	暴風雨・雪による電気設備への悪影響防止対策を実施した	541	509	960	685	487
25	漏電遮断器・漏電火災警報器を取替えた	—	—	—	484	447
26	漏電遮断器を新設した	—	—	—	346	281
27	ナイフスイッチ・ブレーカ等、及び電磁開閉器等を改修した	1341	1091	1170	693	632
28	低压幹線・コンセント・低压コンデンサ等の改修（過熱・緩み・絶縁不良等）をした	2167	1869	1663	1140	959
29	低压CV電線の紫外線劣化対策、紫外線劣化による張替を実施した	—	—	—	76	42
30	接地抵抗値の改善、接地線等の改修を実施した	455	426	396	328	264
31	キュービクル・電気室のリニューアルを行った	303	265	311	322	325
32	キュービクル他環境整備（塗装、錆穴補修、排水改善、昇降階段等安全改善）をした	853	613	575	652	580
33	自家発電装置を改修（整備、取替え、新設を含む）した	596	421	462	367	387
34	その他	416	200	185	167	191
	合 計	25587	20988	22823	23352	22464

2. 施設改善件数の年度比較

28年度を含め過去5年間の施設改善件数実績は、表1に示すとおりである。改善総件数は、年間20000件～26000件となっている。調査項目変更の影響もあるが、昨年度比で約4%の減となった。

3. 改善件数の推移

自家用電気工作物の維持管理には予防保全的見地から施設の改善・改修が極めて重要となる。自家用構内で通常行われる各種環境整備や改善・改修は、高度な技術や多額な経費を伴う場合だけでなく、草取りや清掃と言った地道なものまで幅広くある。電気管理技術者は、施設の実態に応じ、それぞれの工夫を加えて維持・改善・改修を実施していくことが必要である。

図1は、変電設備環境等・低圧関係の過去5年間の改善件数を示す。内訳を見ると「植物・つる草類対策」が圧倒的に多く、6238件となっている。

前回から追加した「絶縁回復剤での維持・回復」は2番目に多く、1938件となっている。ただ個別の回答より一般的には絶縁回復のみを目的としているが、設備維持を目的とするなど使用方法にも差が見られた。

図2は、高圧関係の過去5年間の推移を示すグラフである。PASやUGS等の新設、高圧ケーブル交換など波及事故対策に会員がよく取り組んでいることがわかる。

また27年度よりPASとUGSの新設と改修の項目を分けたが、PASにおいてはUGSより普及が早いのもあって、改修時期に来ているものが多いことがわかる。PASやUGSは波及事故防止に重要な役割を果たしているが、

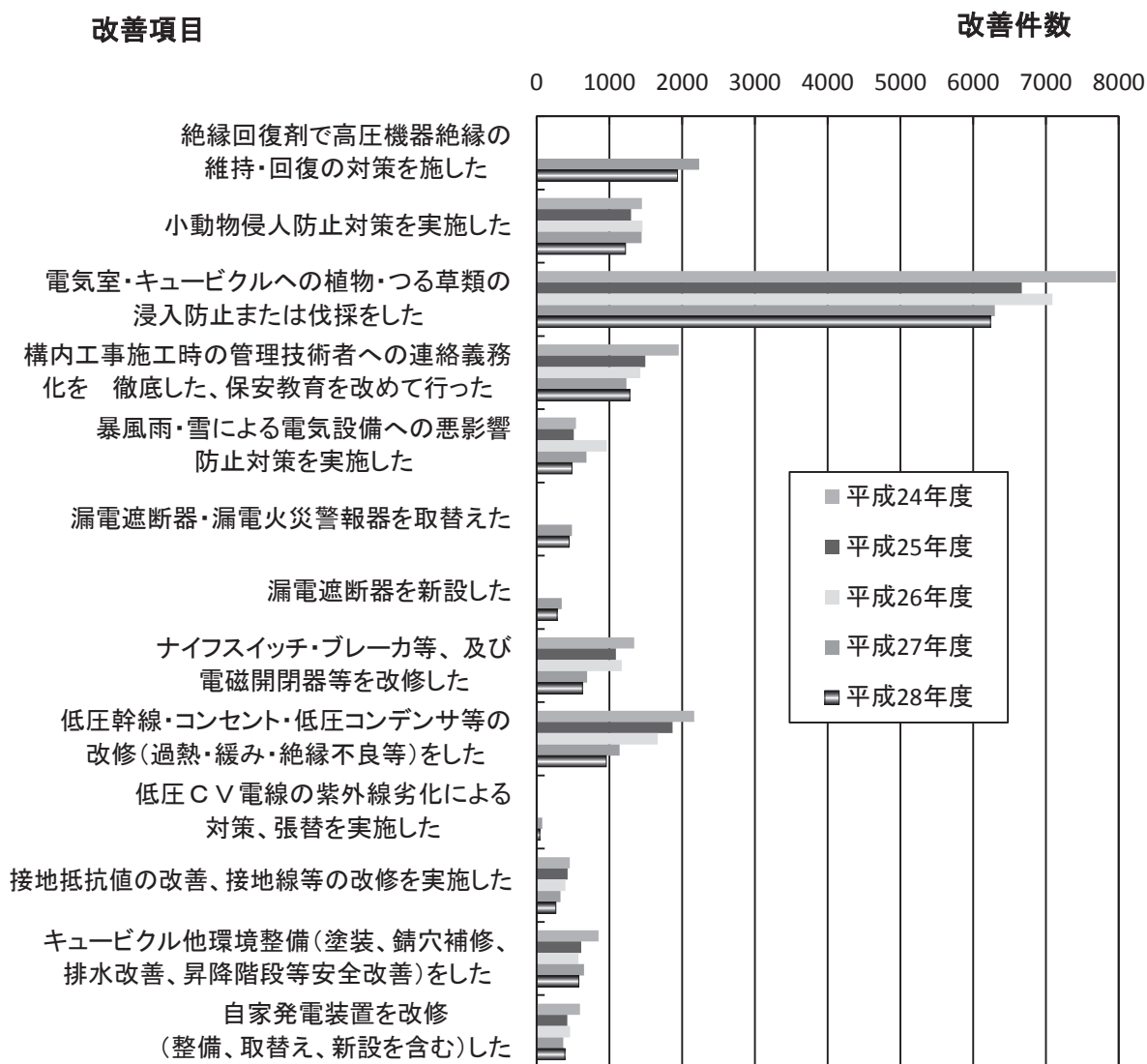


図1 変電設備環境等・低圧関係の過去5年間の改善件数

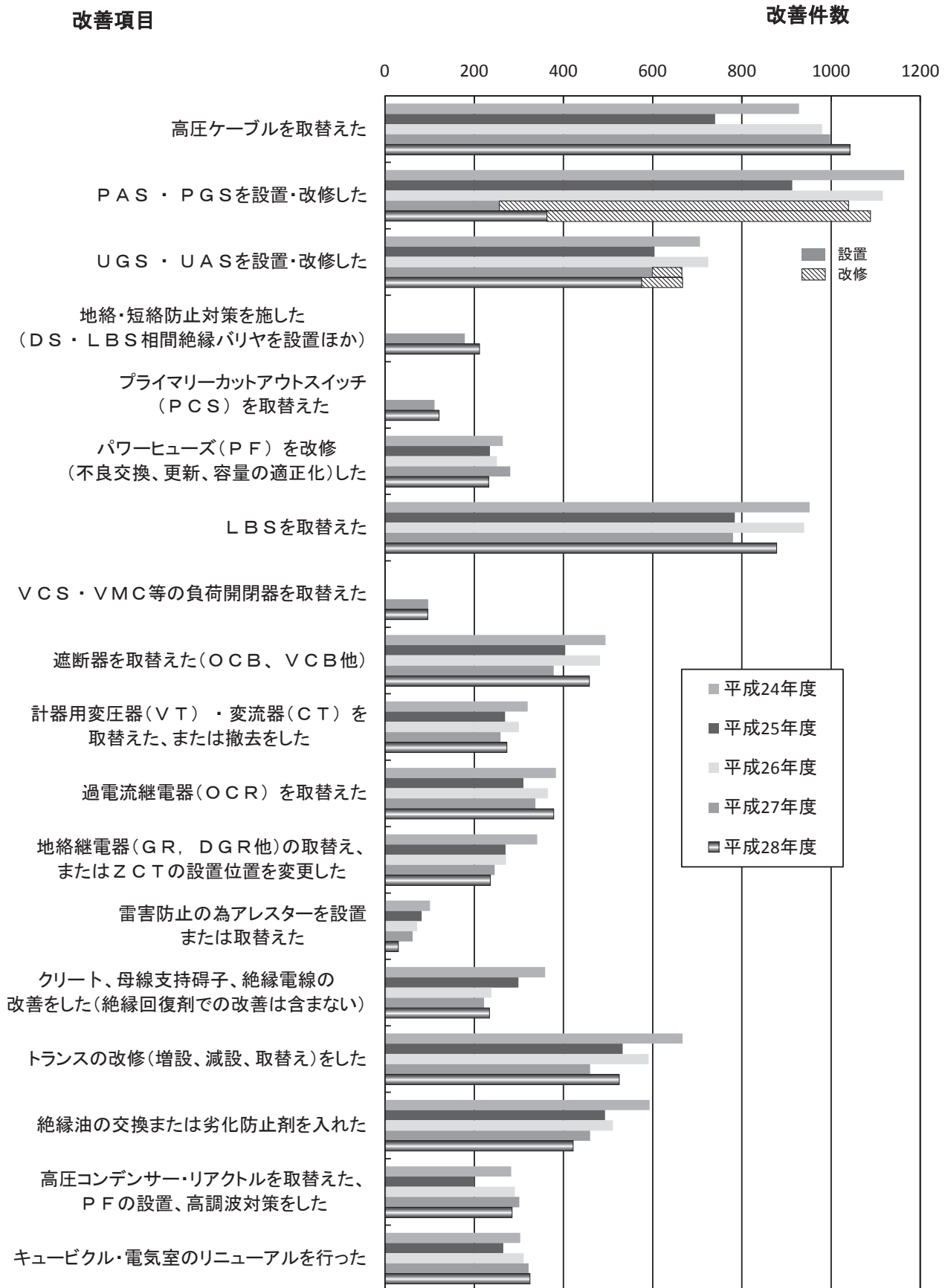


図2 高圧関係の過去5年間の改善件数

劣化による波及事故防止の失敗や不必要遮断も発生している。新設だけでなく改修にも一層の努力をお願いしたい。

4. 支部ごとの取り組み状況

図3は、支部ごとのアンケート回答者率と会員一人当たりの施設改善件数をグラフ化したものである。支部別

に会員の施設改善に対する関心度や取り組み状況がここから汲み取れるが、その評価や今後の対策については、それぞれの事情を踏まえ各支部ごとに行って頂きたい。

尚、回答率は全会員で毎年増加傾向にあったが、28年度は89.3%と1.3%微減した。会員各位のご協力に感謝したい。

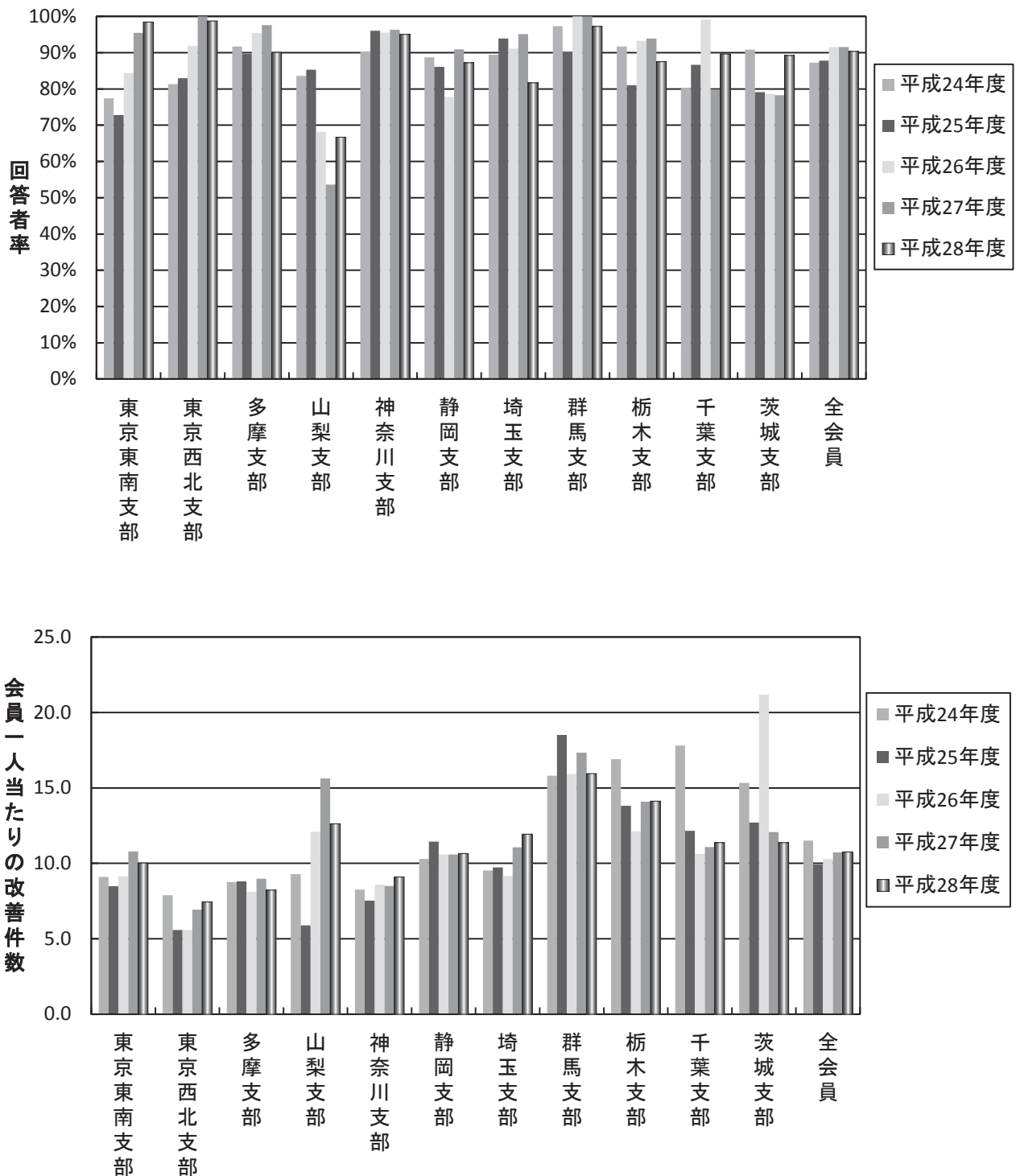


図3 支部ごとの回答者率（上）と会員一人当たりの施設改善件数（下）